

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市おおひら歴史民俗資料館
	所在地	栃木市大平町西山田898-1
	施設内容	郷土の考古・歴史・民俗文化等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚と教育、学術及び文化の振興に寄与する歴史民俗資料館及び郷土資料館「白石家戸長屋敷」
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 自然と人間の森おおひら
	所在地	栃木市大平町西山田857
	主な業務内容	子供たちの森林環境教育や市民の自然体験に関する事業および都市と農山村の交流促進に関する事業

(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み

評価項目	①	当該施設の設置目的に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員（社員）が適切に理解しているか					
	②	市民の誰もが利用しやすいように、施設利用の利便性、平等性の確保に配慮されているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、それらを反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者からの苦情等に対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			前年値	実績値		
	利用者数(有料)			7,113名	8,990名		
	利用者数(総数)			9,638名	12,631名		
	アンケート回収数			300部	304枚		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	引き続き利用者の安全確保・快適な空間の提供をめざし、景観整備事業と合わせ、見学路のバリアフリー化を進め、郷土資料館については車椅子による見学が可能となり、デイサービスなど新たな利用層の開拓につながりました。また、地域との協働で実施した企画展や、地元業者との共同企画でバスツアーで大幅な集客増加につながりました。アンケートの回収数は、団体・ツアー客が多く、前年並みとなりましたが、職員による来館者への声かけ・案内を積極的に行う中で、来館者の意見を吸い上げ、展示品キャプションの文字の大形化やレイアウト変更など、具体的に館運営に反映させています。映画・ドラマ等6本の撮影に利用され、特に、夏に封切りとなった映画「銀魂」による集客効果がありました。						
施設所管課コメント	指定管理者の管理状況に対するコメント 施設の老朽化が進む中、日常的な植栽管理や園路整備等の改良によって施設の快適性、利便性が保持されている。 高齢者・障がい者の利用で平日無料としたことは、公平性の点で評価できる。 利用者数に関しては、有料無料共に目標値を大きく上回っており、一万人を超えた入館者数は評価できる。 イベント等による観光的な集客によって人数が増加していると考えますが、今後は常設展示の重要文化財をはじめとする資料を確実に保存管理し、これらを活用して入館者を増やす努力を行っていただきたい。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価項目	①	事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	特色ある広報活動等により、新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長や新規事業の実施等により、利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		前年値		実績値		
	ホームページ更新回数		22回		22回		
	協働事業実施数		10回		13回		
	協働事業参加者数		250名		350名		
	自主事業数		29回		29回		
	展示替え		1箇所		3箇所		
	施設・イベント案内配布数		18,000部		29,300部		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	I	1.0	20
指定管理者コメント	<p>本年度は市内13小学校の授業と1校の教員研修に利用されており、今までの学校対応が評価されていると思います。施設案内配布は資料館パンフレットのほか、当館のクリスマスイベントの案内を「光と音のページェント」実行委員会チラシに載せて、大平地域全戸に配布しました、さらに初の試みとして「資料館の夏休みイベント」チラシを全市内の小中学生に配布しました。地域との連携・協働については、戸長屋敷の特色を生かし、県主催の婚活会場、市国際交流協会や煎茶教室・吊るし飾りなどの市民団体との共催・協賛事業を、更に資料館リソースを活用して県博・市生涯学習課との連携事業を行いました。引き続き「まちの駅ネットワークおおひら」の事務局、さらに館長が新大平下駅前「光と音のページェント」の実行委員会会長として参画するなど地域との連携事業を展開しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>指定管理者の管理状況に対するコメント 昨年度行われた企画展「田村律之助と麦のある暮らし」「大平地域の榎木にみる彫工磯辺一族の系譜」については、地域・学識経験者との連携による学術的価値のある展示内容であり非常に評価できる。 県立博物館の特別企画展の連携として展示した「栃木市の中世城郭を考える」やスタンプラリーも好評であった。 実際の民俗資料を活用した事で、教科書にある昔の暮らしの体験に貢献している。学校の団体利用数は市内の資料館で最多で、学校教育との連携が大いに評価できる。 今後も、常設展示の定期的な展示替えや、収蔵資料を生かした企画を考えてほしい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価項目	① 指定管理料等の収支手続きは適切に行っているか					
	② 経費の削減がサービス低下につながっていないか					
	③ 清掃、警備、施設の保守点検などを一部再委託する場合、経費節減等を考慮して適切に行っているか					
	④ 建物、設備、備品の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮も適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名			前年値	実績値	
	光熱水費			264,991円減	158,648円減	
	リース料			12,000円減	12,000円減	
	修繕費			377,553円増	1,047,568円増	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	II	0.8
指定管理者コメント	<p>指定管理料の収支手続きについては、資料館職員と担当理事の2人制で行い、年度末には税理士に確認指導を委託しています。再委託業務については、庭園整備は職員が行い、コストをおさえながら外周見学路、竹林整備や景観向上の整備を行い、利用者から好評を得、また、ロケ地利用に効果を上げています。その他の再委託業務については、改善点を指摘し、委託業務の確実な実施を条件に、昨年と同一の業者に委託しました。光熱水費については、小学3年生の「昔の暮らし」の単元に対応して、水稻栽培用水道代、ロケ利用増加に伴う増加があり、昨年に比べ削減幅が減少した。ロケ利用料などの増収および経費削減努力により、念願であった郷土資料館離れの床・畳・襖・壁紙など大幅な改修工事費が捻出できた。更に、昨年に引き続き歴民のLED化を継続して行い、同時に2階への階段足元灯を新設しました。</p>					
施設所管課コメント	<p>照明をLEDにしたことで光熱水費等が削減されたことは評価できる。一方で修繕料は増加しているが、ロケ利用料を施設修繕に充てており、結果として館内の環境改善が進んだ。重要文化財である「七廻り鏡塚古墳出土品」は、保存のため徹底した温湿度管理が求められる。現状相対湿度±20%で推移しているが、より小さい数値による対策を検討し、経費節減の指標にとらわれず日常の温湿度管理を行ってほしい。植栽や保守等を自前で管理できる人材が確保されており評価できる。また、資料の取り扱いを熟知している学芸員が必要なことから、今後も学芸員相当の職員を確保を努力してほしい。</p>					

(4) 施設の管理を安定して行う能力						
評価項目	①	管理運営する為の職員等配置や組織体制が確保されているか				
	②	職員（社員）の指導育成、研修等が十分に確保されているか				
	③	健康保険料・厚生年金保険料及び各種税金は適切に納められているか				
	④	財政状況に異常はないか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			前年値	実績値	
	人員配置数			4名/日	4名/日	
	勤務時間数（平均1人一日当り）			7.75時間	7.75時間	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>職員は正職員・パート職員を合わせ6名が通常業務、NPO理事2名が運営にあたり、平日は最低3名/日の勤務体制を、土日祝日および団体向けもの作り体験対応時・イベント開催時には4名～6名を配置。また、指定管理運営経験者、所蔵品に対する専門家などを顧問として配置、管理能力の強化を図りました。（勤務時間については前年度・今年度共にパートは除く）職員の研修については、本年度は平日の障がい者・高齢者の歴民入館料免除を実施したため、案内に失礼のないよう指導、日常的にOJTを行い、利用者への挨拶・声掛けなど来館者アンケートでも一定の成果を上げていると思います。社会保険は、法令通り該当者について加入、源泉税・消費税も適正に支払いをし、財政状況についても正常に運営していると考えます。</p>					
施設所管課コメント	<p>指定管理者の管理状況に対するコメント 通常4名体制を維持できたことは評価でき今後も維持してほしい。 今後はロケ対応等のニーズが増加することが予想されるため、人員体制の維持に努めてほしい。 防火管理者については、引き続き施設職員により対応できることを評価したい。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価項目	①	① 日常の事故防止等のための安全対策が適切に行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制が整理され、適切に行っているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 利用者等の個人情報保護のための対策を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			前年値	実績値	
	消防訓練実施数			2回	2回	
	マニュアル更新件数			1回	0回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	I	1
指定管理者コメント	<p>来館者の安全を最優先に、事故防止対策は、昨年に引き続き見学路の整備の中で、段差の解消、立ち入り禁止区域の柵設置とハチ・ヘビの忌避剤の散布を行っています。特に、デイサービスの利用が増加しており、その対策として、各蔵の出入口のスロープを整備しました。また、歴民2階への階段の安全対策として、足元灯を新設しました。職員の労災事故防止策としては、高所作業時には安全ベルト・ヘルメットの着用を励行しています。また、防災訓練は年2回実施、特に、「文化財防火デー」に因んだ訓練は、地元自治会・栃木消防署大平分署等の協力を得て総合訓練を実施。合わせてAED操作訓練も行い、その模様はテレビ・新聞で報道されました。また、防火管理については、各部所の火元責任者を明確にし、日次のチェックリストの見直しを行い、より実情に即したものに改善しました。</p>					
施設所管課コメント	<p>指定管理者の管理状況に対するコメント 文化財防火デーに合わせて防火訓練が行われ、定例的なイベントとして地域に定着した事は評価できる。 事故防止対策については、日々の整備を行う中で見回りが行われ、また高木伐採等を実施したことで安全性が向上した。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 市民の平等な利用の確保及びサービスの質の向上の取組み	25	25	25
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	12
(4) 施設の管理を安定して行う能力	20	20	20
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	20
評価点合計	100	96	97
総合評価		A	A

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価加減点	第3次評価点	第3次総合評価
		97	-0.3	96.7
選定委員会コメント	<p>【平等利用の確保とサービス向上の取組み】 バリアフリー化による高齢者、障がい者の利用促進及び利用者が一息つけるスペースの設営等々、サービスの質の向上に前向きであり評価できる。 限られた経費の中であって、環境整備の充実改善に努めるなど施設の設置目的に適合させる努力が強く感じられる。</p>			
	<p>【施設の効用を最大限に発揮する取組み】 小学校等や他団体との関係を深めているようで、さらに様々なことを考えていってほしい。 体験型イベントや各種団体との共催、協賛事業にも積極的に取組み、その成果がでている。幅広く施設の効用を発揮する工夫努力が認められる。</p>			
	<p>【施設経費の削減の取組み】 全てが前年より成果を上げており、引き続き更なる改善に努められたい。必要な修繕費は、ロケ利用料や節減分を充てるなど工夫をしており評価に値する。 光熱水費の節減も着実に成果が出ている。また、自前で庭園整備作業を行うなど、経費節減に前向きに取り組んでいる。</p>			
	<p>【施設の管理を安定して行うための取組み】 人員体制を適正に維持しており、引き続き個々の職員のスキルアップに努めていただきたい。 限られたスタッフ数にもかかわらず、施設のミッションを自覚し、職員配置や組織体制の充実に努めている。</p>			
	<p>【施設の安全対策、危機管理体制の取組み】 伐採作業、土木作業による安心安全な施設管理がなされている。 安全対策が細やかに配慮実行されていること及び防災訓練、AED操作訓練等が適切に実行されていることは高く評価できる。</p>			
	<p>【その他意見】 総じて資料館の特色を活かし、適切・良好に管理運営がなされている。引き続き利用者への親切的な対応、関係機関・団体や地域との連携・協働を進め、安全対策・危機管理体制の強化をしながら、利用者の増加を図られたい。 職員の通常4名体制は大いに評価できる。今後も利用者対応の質の向上には、常日頃の教育が必要となるため、これからも心掛けて維持に努められたい。</p>			

(4) 施設の管理を安定して行う能力

《 別紙 》

④ 財政状況に異常はないか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	平成29年3月期	平成28年3月期	平成27年3月期
資産総額	1,580,590	1,536,674	1,288,386
売上高	28,414,259	27,775,152	27,584,485
経常利益	43,916	248,288	10,892
当期利益	43,916	248,288	10,892
経常収支比率	100.2%	100.9%	100.0%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	29年3月期	平成28年3月期	平成27年3月期
経常費用	28,370,343	27,526,864	27,573,593
経常収益	28,414,259	27,775,152	27,584,485
経常収支比率	100.15%	100.90%	100.04%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント